

ス
ペ
ツ
ク
1
2
0
の誘惑

赤
松

青
海

人 物

大淵 糸（21）大学3年生・パパ活女子

（15）写真のみ。中学3年生

佐伯 斗真（23）糸の彼氏

宮園 聖歌（21）糸の友人

松林 政史（43）会社員

女性会社員（40代）

大学教員（50代）

○マンション・糸の部屋・リビング（朝）

スマホのアラームが鳴り続ける。

服が散乱した室内で、大淵糸（2

1）、佐伯斗真（23）が同衾。

下着姿の糸、布団から這い出て、目を擦りながらアラームを止める。

覆い被さる佐伯を除けて起き上がる。

○同・脱衣所（朝）

シャワー室からシャワーを浴びた糸が出て、バスタオルを体に巻く。

シャワー室には全面鏡があり、糸の細いボディラインが映る。

糸、深呼吸して体重を量る。

体重計の表示は47キロ。

糸、落胆の表情で大きな溜息。

○同・糸の部屋・リビング（朝）

部屋の隅に追いやられた佐伯が起床。

部屋の真ん中に机が置かれている。

佐伯、欠伸をしながら部屋の奥のキッチンで料理をしている糸を見る。

糸、お腹の見える黒のクロップドロップスにチェックのミニスカート。

佐伯、布団を持ち上げ股間を覗く。

佐伯「やべ、なんかキタ」

糸、ベーコンエッグを作りながら佐伯の方を見る。

糸「おはよ斗真、なんか言った？」

佐伯「いや。糸、かわいいなーって」

糸「じゃあ服着て片付けて。邪魔だから」

佐伯「りょーかい」

佐伯、立とうとして中腰で止まる。

糸「……早くしてよ」

佐伯「わりい今立てねえ。別の勃ってて」

糸、冷ややかな目で佐伯を見る。

× × ×

半袖短パンの佐伯の前に、ベーコンエッグの皿とトーストののった皿。

糸、プロテインを飲みスマホを弄る。

糸の前にはフルーツ入りヨーグルト。
テレビはニュースのエンタメ企画。
佐伯、テレビのKポップアイドルにニ
ヤけながら、スマホを操作し出す。
佐伯「へーサラって160センチなんだ。糸
より5センチも低い」

糸「体重は？」

佐伯「あー……載ってない」

糸「ま、そうだよね」

糸、残念そうにスマホに目を落とす。
スマホの画面には毎日の摂取カロリー
と栄養素、体重をまとめた表。

『一食400キロカロリー』の太字。

佐伯「糸は今日どんな予定？夜、家いる？」

糸「この後大学。午後仕事。斗真は？」

佐伯「どうしよっかなー。一旦パチ行っ

て、友達と会ってー、深夜バイト」

糸「友達？女の子でしょ」

佐伯「友達だって。女は糸がいんじゃない」

糸「私、まだ聖歌とのこと許してないけど」

佐伯、糸の手を取り、掌を合わせる。

佐伯「ほら、この通り」

佐伯、そのまま指を絡める。

糸「……今何考えてる？」

佐伯「指細いなー」

糸「こっちは真剣だったのに」

糸、佐伯の手を解いて立ち上がる。

佐伯「俺もマジだって！夜！家いてよ！」

○電車・女性専用車両・車内

糸、満員電車の席に座っている。

周囲の女性、ちらちら糸を見ている。

糸M「この視線、嫌いじゃない。相手と自分を比較する目。それからの羨望の眼差し」

糸、スマホを操作し、SNSを見る。

スマホの待受表示『目標45キロ』。

糸M「身長165センチ。体重47キロ。B

M I 17・3。身長から体重を引いたスぺ

ックは118。あと二キロでスぺ120」

検索欄に『スぺック120』と打つ。

糸の前の女性会社員（40代）、眉を
顰めながら糸を見ている。

糸M「私を謎に心配してくる人がいるけど、
多分ナンパされた経験も無いんだろう」

スマホ画面はBMI計算で痩せ気味と
出て喜ぶ誰かの投稿。

○大学・講義室

大学教員（50代）、すり鉢状の講義
室で栄養学の授業をしている。

糸、後方に座り、学生を見下ろす。

糸と同じクロップドトップスやショー
ト丈のトップスを着た学生。

糸M「韓国アイドルのせいで、体のラインを
見せるハードルが下がってる」

○渋谷駅・ハチ公広場

糸、石段に腰掛け往来を見ている。

ミニスカートに黒いナイロンソックス
の女性や、ルーズソックスの女性。

糸、忌々しそうにそれらの人を見る。

糸M「痩せる努力をせず、流行に乗って安易に体のライン出す女が、私は許せない」

糸、宮園聖歌（21）がフラッペを片手に駆け寄るのを見る。

聖歌「やつほー糸！これからパパ活？」

聖歌、長身にジャケットを羽織り、脚にぴっちりしたスキニージーンズ。

糸M「もう一つ許せないのは、努力しなくても体質的に痩せられる奴、宮園聖歌」

糸のスマホは『フラッペのカロリー227キロ』と計算されている。

聖歌「糸？何か怒ってる？」

糸「聖歌。……今日全然体重落ちてなくて」

聖歌「えー痩せてると思うけど。また斗真君のナンパかと思った」

糸「まだまだ痩せてない。あと斗真の面倒は日常過ぎてノーカン」

聖歌「そんなのとよく付き合えるねー」

糸「……初めてナンパしてくれた人だし」

聖歌、照れて俯く糸から目を逸らす。

男性の声「あの、大堀衣織さんだよね？」

若林政史（43）、糸に声をかける。

若林、品定めするように糸を見る。

糸「初めまして！大堀衣織です！」

糸、営業スマイルし、聖歌に小声で、

糸「ごめん仕事行く。聖歌も仕事ガンバ」

糸、若林の手に抱きつき、ぐいぐい先導して立ち去る。

聖歌、フラップをずぞと飲んで見送り、暫くして佐伯が駆け寄ってくる。

佐伯「聖歌ちゃんごめりん！遅れた！」

聖歌、むすつとした表情。

聖歌「糸いるって聞いてない。わざと？」

佐伯「え？糸？どこ？」

聖歌、首をすくめて苦笑する。

聖歌「斗真君の天然、私はいいと思う」

○カフェ・店内

女性客やカップル客が多い店内。

巨大ホットケーキにを撮影する若林。

糸、メニューにある「933キロ」の
小さな表記に笑顔が固まる。

若林「僕甘党でさ！食べてみたかったんだ！
おっさんはこういうの頼みにくくて」

糸「そ、そうなんだ」

糸、水をゴクリと飲み干す。

若林「本当に何も要らない？別に奢ってあげ
るし、むしろ奢ってあげたいというか」

糸「ダイエットで食生活管理してるから」

若林「ダイエット？衣織ちゃん十分痩せてる
よ。気にしなくていい」

糸、むつとして語気を強める。

糸「痩せてない。まだ足りない」

若林、諭すように緩慢な優しい声で、
若林「感心しないな。知ってる？今の日本の

若い女性、世界的に見て痩せすぎらしい
よ？日本と同じくらいの肥満率なのは――」

糸「貧困国の人たち、でしょ」

若林、先に言われ、言葉に詰まる。

糸「で、あれでしょ。肌ボロボロ。骨スカスカ、貧血、生理不順。もう知ってるから」

若林「……何でそこまでして」

糸、スマホを操作し、若林に見せる。

糸（15）のふくよかな体型の写真。

糸「中学の私。渾名は名前もじって大豚」

若林、驚いて写真と糸を見比べる。

糸「元からいじめられてたけど、学校の書類管理が雑で私の体重がクラスに漏れちゃつて。いじめが更にエスカレートしたの。だから私、死ぬほど頑張って痩せたんだ」

若林「でも！そこまで痩せる必要は……」

糸「……怖いの」

糸、顔を細長い指で蔽う。

糸「怖い。死ぬほど怖い。またあの頃に戻るのが……。この生活は変えられない」

糸、取り繕うように笑顔を見せる。

糸「でも聞いて！ここまで痩せて初めてナンパされて！彼氏もできた！昔の私じゃー」

糸、窓の外を見て表情が固まる。

糸、窓の外に佐伯と聖歌が連れ添って
歩くのを見る。

佐伯・聖歌、楽しそうに笑い合う。

若林「……どうしたの？」

糸「……もつと痩せなきゃ」

天気が曇りだし、遠くで雷鳴になる。

○マンション・糸の部屋（夜）

机の上には大小のペアリング。

佐伯「糸と聖歌ちゃん、多分サイズおなじだよな。今朝触った感じと似てたし」

佐伯、手の中でペアリングを弄る。

佐伯「サプライズ、どんな顔すんだろ」

○坂道（夜）

糸、スポーツウエアで坂道ダッシュ。

雨が糸にどしどしと降り注ぐ。

糸「痩せなきゃ、私に価値なんて……」

足が滑り、途中で転けて倒れる。

待受の表示『目標45キロ』にヒビ。

赤
松

青
海